プロスポーツ 大宮記念 号外版
PROSPORTS KEIRIN WEEKLY MAGAZINE

脇本雄太と平原康多が激突

大阪・関西万博協賛・大宮競輪場開設76周年記念「東日本発祥倉茂記念杯」は、1月16日～19日の日程で開催される。今シリーズは脇本雄太、平原康多、北井佑季のSS班3名が参戦。グランプリ2024で圧巻の先行を披露した脇本が人気を集めそうだが、平原はこの大会9Vの実績がある。森田優弥、宿口陽一、武藤龍生らと地元ラインを形成して迎え撃つだけに、一筋縄ではいきそうにない。もちろん、北井も黙ってはいない。ビッグバンクで凱歌をあげるのは、果たして誰なのか？

昨年の競輪祭では、22年のオールスター以来となる約2年ぶりのG1Vを飾り、グランプリ2024に弾みをつけた脇本雄太。そのグランプリでは、脇本らしい豪快な先行で他を沈黙させた。赤板周回の2コーナーを立ち直ったところから仕掛けてジャン過ぎに先頭に躍り出ると、後続はまったく動けない。ハイペースで飛ばしたため、さすがにゴール前は末脚を欠いて3着に沈んだものの、古性優を優勝に導いた。輪界トップの先行選手であることを改めて示しただけに、今シリーズはファンの支持を集めるのは間違いない。ここは寛仁親王牌、競輪祭と続けて決勝で前を任せた寺崎浩平の存在も脇本には追い風だ。寺崎の動きを見極めながら、場合によっては自力に転じて新春をVスタートで決めよう。その寺崎は本業の競輪に専念したためか、ここに来て成績が安定してきた。11月四日市記念で準V、その前後の寛仁親王牌、競輪祭では決勝に乗っている。脇本に前を託されれば、主導権奪取に全力投球しよう。

この大会で圧倒的な存在感を示しているのは、地元の大将格である平原康多だ。59周年を皮切りに、計9回も主役を演じている。昨年は無念にも10年間維持していたSS班の座を手放したものの、ダービーで優勝し、グランプリに参戦した。すぐにSS班に返り咲いたのは立派の一言だが、ダービーの後は優勝がなく、終盤は立て続けの落車もあった。その中、年頭の1月立川記念では決勝3着。順調な回復ぶりなだけに、相性のいいバンクでさらなる上昇気流に乗りたいところ。ここは森田優弥、宿口陽一、武藤龍生らと連係して10回目のVにまい進する。

昨年は高松宮記念杯でタイトルホルダーの仲間入りを果たし、今年は新SS班となった北井佑季。しかしながら、後半戦は人気以下の成績が多く、失速気味となったのは不本意だろう。しかも今年初戦の立川記念では失格。勢いを取り戻すべく、飛ばしていくはず。南関勢は追い込み型が手薄なのは気になるが、対照的に北日本勢は自力型が少ない。守澤太志、和田圭が北井に続けばラインはしっかりする。パワーあふれる先行で別線を翻弄するか。

九州勢も嘉永泰斗、伊藤颯馬、井上昌己と戦力は整っている。2枚の自力型を擁しているので、幅広い組み立てが可能なのは強みだろう。軸になるのは嘉永だ。昨年は4月に川崎記念で3回目のG3Vを達成したものの、後半戦はGレースで特に目立った活躍はなかった。仕掛けどころは逃がしていないが、やや末脚が甘くなっていた感がある。とは言え、12月松阪の決勝で、藤井侑一浅井康の中部勢を快速まくりで仕留めた競走は力強かった。やはり自力攻撃の破壊力には素晴らしいものがある。伊藤はF1戦ながら12月別府、同月静岡(GPシリーズ)、1月高知と3連覇。波に乗っているので動向には注意したい。

万博協賛　東日本発祥倉茂記念杯　出場予定選手

※2025年01月08日現在のデータです。

級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点
SS	平原康多	埼玉	87期	115.25	S1	徳永哲人	熊本	100期	105.14	S2	西田雅志	広島	82期	100.30	S2	三浦翔大	宮城	98期	92.11	S2	平尾一晃	長崎	111期	99.17
SS	脇本雄太	福井	94期	121.36	S1	菅原大也	神奈川	107期	102.00	S2	佐藤慎太郎	福島	83期	100.36	S2	西田大志	福岡	98期	91.19	S2	黒沢征治	埼玉	113期	106.63
SS	北井佑季	神奈川	119期	112.82	S1	小川真太郎	徳島	107期	108.96	S2	真崎新太郎	栃木	85期	94.58	S2	三好恵一郎	群馬	99期	92.61	S2	上田尭弥	熊本	113期	101.15
S1	内藤宣彦	秋田	67期	107.15	S1	酒井雄多	福島	109期	105.83	S2	小林則之	静岡	85期	93.10	S2	今藤康裕	岐阜	99期	98.09	S2	照井拓成	岩手	115期	101.52
S1	小倉竜二	徳島	77期	110.52	S1	嶋田誠也	福岡	109期	102.40	S2	川村晃司	京都	85期	101.16	S2	名川豊	福岡	99期	89.92	S2	板垣昴	北海道	115期	101.58
S1	中村浩士	千葉	79期	103.33	S1	森田優弥	埼玉	113期	113.94	S2	中村一将	兵庫	86期	94.12	S2	本郷雄三	熊本	99期	91.93	S2	福田滉	栃木	115期	101.72
S1	井上昌己	長崎	86期	109.92	S1	嘉永泰斗	熊本	113期	111.04	S2	三ツ石康洋	徳島	86期	100.04	S2	保科千春	宮城	100期	101.33	S2	城戸俊潔	岡山	115期	98.13
S1	大森慶一	北海道	88期	107.86	S1	佐々木悠葵	群馬	115期	113.70	S2	五十嵐力	神奈川	87期	91.42	S2	月森亮輔	岡山	101期	101.94	S2	外田心斗	愛媛	115期	101.04
S1	飯野祐太	福島	90期	104.24	S1	伊藤颯馬	沖縄	115期	111.72	S2	上田国広	三重	89期	106.18	S2	山崎泰己	岡山	101期	97.04	S2	阪本和也	長崎	115期	105.40
S1	神山拓弥	栃木	91期	108.97	S1	寺崎浩平	福井	117期	117.75	S2	筒井裕哉	兵庫	89期	98.53	S2	津村洸次郎	福岡	101期	96.12	S2	太田龍希	埼玉	117期	98.80
S1	宿口陽一	埼玉	91期	109.00	S1	佐々木眞也	神奈川	117期	109.26	S2	高塩譲次	栃木	90期	96.19	S2	小酒大勇	宮崎	103期	99.13	S2	岡田亮太	東京	117期	94.61
S1	大川龍二	広島	91期	106.00	S1	町田太我	広島	117期	107.43	S2	近藤隆司	千葉	90期	98.40	S2	清水剛志	福井	103期	102.28	S2	片桐善也	新潟	117期	94.61
S1	和田圭	宮城	92期	110.85	S1	橋本壮史	茨城	119期	104.88	S2	山下渡	茨城	91期	99.80	S2	北川大五郎	大阪	103期	96.79	S2	小松原正登	福井	117期	90.07
S1	根田空史	千葉	94期	107.07	S1	東矢圭吾	熊本	121期	105.12	S2	岸澤賢太	埼玉	91期	97.17	S2	市橋司優人	福岡	103期	101.48	S2	塚本瑠羽	神奈川	119期	78.81
S1	守澤太志	秋田	96期	110.37	S2	室井健一	徳島	69期	95.19	S2	伊原克彦	福井	91期	95.94	S2	小川賢人	福岡	103期	102.79	S2	徳田匠	京都	119期	96.16
S1	雨谷一樹	栃木	96期	111.36	S2	中井達郎	静岡	74期	85.08	S2	柴田洋輔	東京	92期	102.71	S2	新納大輝	鹿児島	103期	98.46	S2	松本憲斗	熊本	119期	99.79
S1	岡崎智哉	大阪	96期	108.48	S2	竹田和幸	岐阜	78期	91.45	S2	不破将登	岐阜	94期	106.37	S2	磯島康祐	青森	105期	91.95	S2	邊見光輝	福島	119期	97.95
S1	武藤龍生	埼玉	98期	113.11	S2	小林大介	群馬	79期	100.04	S2	村上直久	神奈川	95期	93.90	S2	小林令	山梨	109期	101.53	S2	山口多聞	埼玉	121期	102.37
S1	川口公太朗	岐阜	98期	107.31	S2	八日市屋浩之	石川	79期	98.68	S2	重倉高史	富山	95期	94.42	S2	吉田昌司	茨城	111期	95.06	S2	小西晴己	三重	121期	98.45
S1	中田健太	埼玉	99期	102.85	S2	稲村好将	群馬	81期	95.05	S2	川津悠揮	北海道	96期	103.76	S2	染谷幸喜	千葉	111期	96.55	S2	西田優大	広島	123期	104.80
S1	伊藤裕貴	三重	100期	103.95	S2	中村昌弘	広島	81期	100.69	S2	内藤高裕	東京	96期	98.58	S2	小川丈太	徳島	111期	99.13					
S1	神田紘輔	大阪	100期	105.68	S2	春日勇人	千葉	82期	95.95	S2	棚橋勉	岡山	96期	99.96	S2	門田凌	愛媛	111期	92.21					

プロスポーツ

PROSPORTS KEIRIN WEEKLY MAGAZINE

万博協賛　東日本発祥倉茂記念杯 号外版

佐々木 眞也（神奈川/117期）

昨年は飛躍を遂げた。9月青森記念でG3初Vを達成すると、10月川崎G3、12月広島記念 in 玉野でも優参。今年も1月平でV発進と機動力を活かした自在戦に一段と磨きがかかっており、上位戦でも目が離せない。

大森 慶一（北海道/88期）

43 歳のベテランながら差し脚に陰りは見られない。昨年は8月にF1戦で3連覇を飾っているし、競輪祭では3日目に1勝をあげている。先行目標が不在のときでもコースを探して突っ込んでくるので注意したい。

徳田 匠（京都/119期）

今期は初めてS級に昇格した。初戦の1月岸和田（4日制）は2６②②着、勝ち星こそなかったものの、3連対していて機動力を猛アピール。一次予選、選抜クラスは人気の有無にかかわらず軽視は禁物だ。

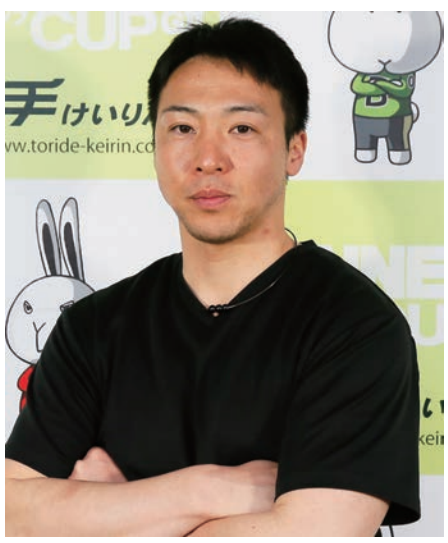
地元地区推奨選手 俺の出番だ!!

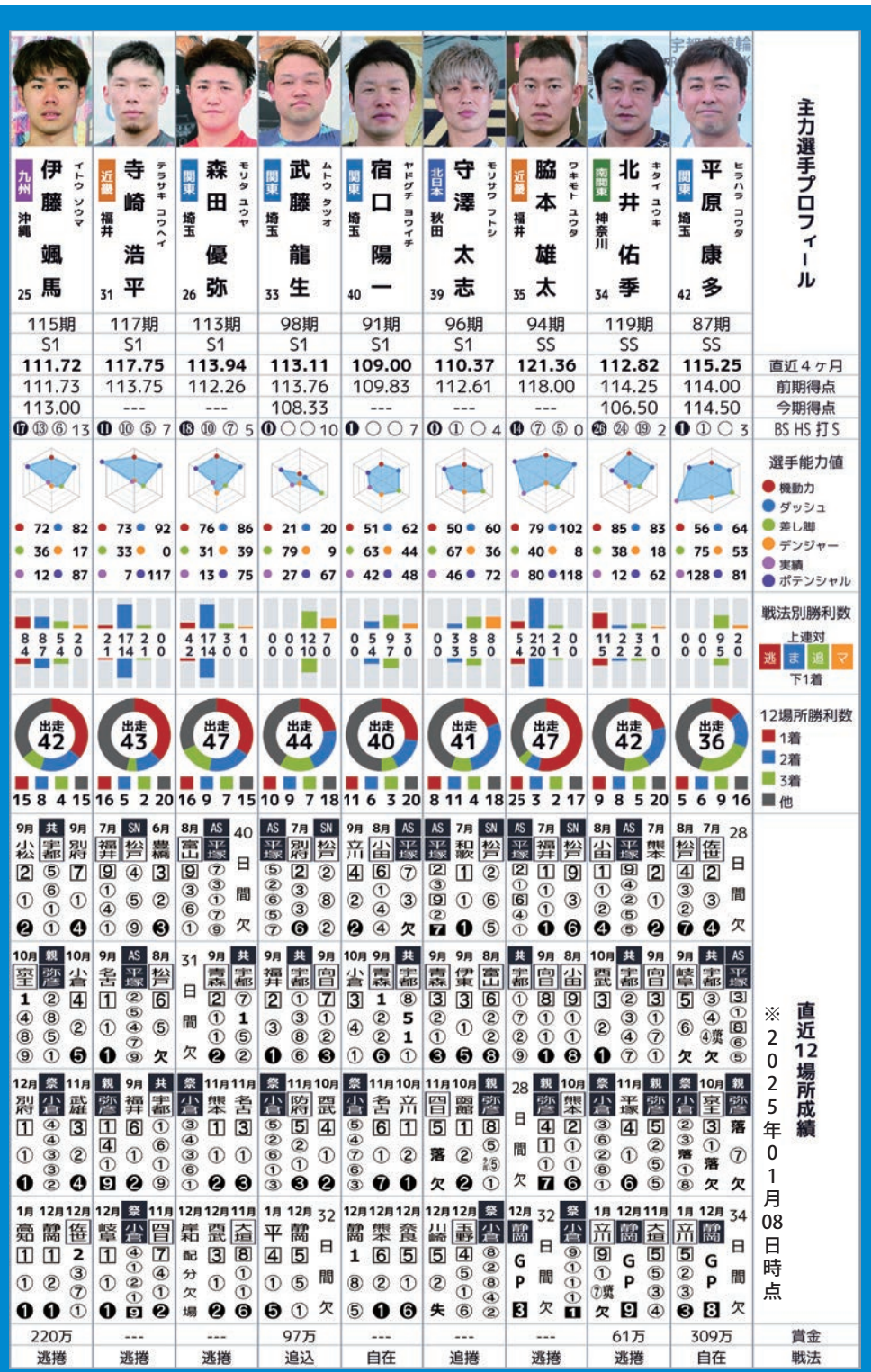
山口 多聞（埼玉/121期）

ヤンググランプリ２０２４に参戦した有望株。直近4カ月の連がらみの決まり手は7割が先行で、積極的な競走が持ち味。ホームバンクの記念ならいつも以上に気合も入る。先行力を遺憾なく発揮して準決突破を目指す。

黒沢 征治（埼玉/113期）

この大会は 73 周年で決勝に乗っている。昨年は最終戦の12 月西武園を1②❶着とVで締め括った。いい流れでホームバンクの記念を迎えられるだけに、自力攻撃を奏功させての上位進出が期待される。





主力選手プロフィール									
	伊藤 颯馬（九州 沖縄）25	寺崎 浩平（近畿 福井）31	森田 優弥（関東 埼玉）26	武藤 龍生（関東 埼玉）33	宿口 陽一（関東 埼玉）40	守澤 太志（北日本 秋田）39	脇本 雄太（近畿 福井）35	北井 佑季（南関東 神奈川）34	平原 康多（関東 埼玉）42
	115期	117期	113期	98期	91期	96期	94期	119期	87期
	S1	S1	S1	S1	S1	S1	SS	SS	SS
直近４ヶ月	111.72	117.75	113.94	113.11	109.00	110.37	121.36	112.82	115.25
前期得点	111.73	113.75	112.26	113.76	109.83	112.61	118.00	114.25	114.00
今期得点	113.00	---	---	108.33	---	---	---	106.50	114.50
BS HS 打S	⓱ ⑬ ⑥ 13	❶ ⑩ ⑤ 7	⑱ ⑩ ⑦ 5	❶ ○ ○ 10	❶ ○ ○ 7	❶ ① ○ 4	⓮ ⑦ ⑤ 0	㉖ ㉔ ⑲ 2	❶ ① ○ 3
選手能力値（機動力／ダッシュ／差し脚／デンジャー／実績／ポテンシャル）	72 / 36 / 12	82 / 17 / 87	73 / 33 / 7	92 / 0 / 117	76 / 31 / 13	86 / 39 / 75	21 / 79 / 27	20 / 9 / 67	51 / 63 / 42	62 / 44 / 48	50 / 67 / 46	60 / 36 / 72	79 / 40 / 80	102 / 8 / 118	85 / 38 / 12	83 / 18 / 62	56 / 75 / 128	64 / 53 / 81
戦法別勝利数（上連対／下1着）	8 8 5 2 / 4 7 4 0	2 17 2 0 / 1 14 1 0	4 17 3 1 / 2 14 0 0	0 0 12 7 / 0 0 10 0	0 5 9 3 / 0 4 7 0	0 3 8 8 / 0 3 5 0	5 21 2 0 / 4 20 1 0	11 2 3 1 / 5 2 2 0	0 0 9 2 / 0 0 5 0
12場所勝利数（1着／2着／3着／他）	出走 42	出走 43	出走 47	出走 44	出走 40	出走 41	出走 47	出走 42	出走 36
	15 8 4 15	16 5 2 20	16 9 7 15	10 9 7 18	11 6 3 20	8 11 4 18	25 3 2 17	9 8 5 20	5 6 9 16
直近12場所成績 ※2025年01月08日時点	9月 共 小松 [2][①][❷] / 9月 宇都 [5][⑥][①][①] / 9月 別府 [7][①][❹]	7月 SN 福井 [9][①][④][①] / 6月 松戸 [④][⑤][⑨] / 6月 豊橋 [3][②][❸]	8月 AS 富山 [9][③][⑥][①] / 9月 平塚 [⑦][③][①][⑦][⑨] / 40日間 欠	9月 共 福井 [2][③] / 9月 宇都 [①][③][⑧][⑥] / 9月 宮 [7][②][❸]	9月 立 [4][②] / 8月 小倉 [6][①][④] / 8月 平塚 [⑦][③][欠]	8月 AS 平塚 [②][③][9][②][❼] / 7月 和歌 [①][⑥] / 松戸 [②][⑤]	7月 AS 平塚 [②][①][⑥][④][①] / 7月 福井 [①][①][①][❶] / 9月 松戸 [9][③][⑥]	8月 AS 小倉 [①][①][②][❹] / 7月 平塚 [9][④][②][⑤] / 熊本 [2][①][❷]	8月 AS 松戸 [④][③][②][❼] / 7月 佐世 [2][③][④] / 28日間 欠
	10月 親 室 [1][④][⑧][⑨] / 10月 弥彦 [②][⑤][①] / 10月 小倉 [4][②][❺]	9月 AS 名古 [1][①][❶] / 8月 松戸 [⑥][⑤][欠]	31日間 欠 / 9月 共 青森 [②][①][❷] / 9月 共 宇都 [⑦][①][⑤][②]	9月 共 福井 [2][③] / 9月 共 宇都 [①][⑥] / 9月 宮 [7][②][❸]	10月 共 小倉 [3][④][①] / 9月 共 青森 [1][②][②][⑥] / 10月 共 宇都 [⑧][5][1][①]	9月 青森 [③][②][①] / 9月 伊東 [③][①][❸] / 8月 富山 [⑥][②][❺][⑧]	9月 共 宇都 [①][⑦][②][⑨] / 9月 宮 [⑧][①][❶] / 8月 小倉 [9][①][⑧]	10月 西武 [③][②][❶] / 9月 共 宇都 [②][③][①][④][⑦] / 9月 宮 [3][①][⑦][①]	9月 共 岐阜 [5][⑥] / 宇都 [③][④][欠] / 平塚 [③][①][⑧][⑥][⑤]
	12月 祭 別府 [1][①] / 11月 武雄 [③][②][❹]	親 弥彦 [1][④][①] / 9月 共 福井 [6][①][❷] / 宇都 [①][⑥][①][⑨]	祭 小倉 [③][④][③][⑥][①] / 11月 熊本 [1][①][❷] / 11月 名古 [③][①][❸]	祭 小倉 [⑤][②][⑥][①][③] / 11月 防府 [5][②][①][❸] / 10月 西武 [4][①][❷]	祭 小倉 [5][④][⑦][⑥][③] / 11月 名古 [6][①][❼] / 10月 立川 [①][②][❶]	11月 青森 [③][②][①] / 10月 豊橋 [3][①][落] / 親 弥彦 [8][⑤][2/5][①][欠]	28日間 欠 / 親 弥彦 [4][①][①][❼] / 10月 熊本 [②][①][①][⑥]	祭 小倉 [③][⑥][②][⑧][①] / 11月 平塚 [④][①][⑥] / 親 弥彦 [5][②][⑤]	祭 小倉 [②][③][落][①][⑧] / 10月 室 [3][①][落][欠] / 親 弥彦 [落][⑦][欠]
	1月 高知 [1][①] / 12月 静岡 [1][②] / 12月 佐世 [2][③][⑦][①]	12月 祭 岐阜 [1][①] / 祭 小倉 [④][①][②][①][9] / 11月 四日 [7][④][①][❷]	12月 岸和田 [配分欠場] / 12月 西武 [3][①] / 11月 太宰 [8][①][①][❻]	1月 平 [4][⑤] / 12月 静岡 [5][①] / 32日間 欠	12月 静岡 [1][⑧] / 12月 熊本 [6][②][①] / 12月 奈良 [5][⑥]	12月 川崎 [5][②] / 12月 玉野 [4][⑤][①][⑥] / 祭 小倉 [⑧][②][⑧][④][②]	12月 静岡 [GP][3] / 32日間 欠 / 祭 小倉 [⑨][①][①][①][1]	1月 立川 [⑨][①][⑦落][欠] / 12月 静岡 [GP][9] / 11月 太宰 [5][⑤][③][④]	1月 立川 [5][②][③] / 12月 静岡 [GP][8] / 34日間 欠
	220万	---	---	97万	---	---	---	61万	309万
	逃捲	逃捲	逃捲	追込	自在	追捲	逃捲	逃捲	自在
	賞金 / 戦法								

CYCLE JKA Social Action 競輪とオートレースの補助事業

車券の購入は20歳になってから。競輪は適度に楽しみましょう。
競輪とオートレースの売上の一部は、機械工業の振興や社会福祉等に役立てられています。